

令和7年度

学生募集要項

学校推薦型選抜（一般）

学校推薦型選抜（特別）

■ スケジュール

インターネット出願 登録期間	令和6年10月18日（金）～11月8日（金）
出願期間	令和6年11月1日（金）～11月8日（金）
学力検査等	令和6年11月24日（日）
合格発表	令和6年12月2日（月）
入学手続	令和6年12月9日（月）～12月13日（金）

実施日程や選抜方法を変更する場合には、本学ホームページにて随時お知らせします。



岩手県立大学

地域に 未来に 多様なアートを

岩手県立大学
盛岡短期大学部

Iwate Prefectural University, Morioka Junior College

【目 次】

I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

- 1 岩手県立大学盛岡短期大学部のアドミッション・ポリシー 1
- 2 生活科学科生活デザイン専攻のアドミッション・ポリシー 2
- 3 生活科学科食物栄養学専攻のアドミッション・ポリシー 3
- 4 国際文化学科のアドミッション・ポリシー 4

II 学校推薦型選抜の概要及びインターネット出願について 5

III 学校推薦型選抜（一般）

- 1 募集人員 6
- 2 出願資格 6
- 3 推薦人数 7
- 4 入学者選抜方法 7
- 5 出願手続 8

IV 学校推薦型選抜（特別）

- 1 募集人員 12
- 2 出願資格 12
- 3 推薦人数 13
- 4 入学者選抜方法 13
- 5 出願手続 13

V 学校推薦型選抜（一般、特別）共通事項

- 1 学力検査等の日時・試験会場等 15
- 2 併願上の注意 16
- 3 障がい等による配慮事前相談について 17
- 4 入試情報の提供 17
- 5 試験実施日における試験日程繰り下げ等の情報提供 17
- 6 合格発表 17
- 7 入学辞退 17
- 8 入学手続、初年度納付金 18
- 9 入学前教育 20
- 10 個人成績提供の請求について 20
- 11 個人情報の取り扱い 21
- 12 試験会場案内 22
- 13 出願書類の出力例 23

I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1 岩手県立大学盛岡短期大学部のアドミッション・ポリシー

■求める学生像

岩手県立大学盛岡短期大学部では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 岩手県立大学盛岡短期大学部の「建学の理念」と「大学の基本的方向」並びに志望学科・専攻のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに共感する人
- (2) 深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけようとする自律的な人
- (3) 入学までの学修によって基礎的な知識・技能と、思考力・判断力・表現力を身につけている人
- (4) 多様な人々と協働しながら知識・技能を活用して主体的に学び続ける意欲がある人
- (5) 自己成長と社会貢献を目指す人

■入学者選抜の基本的な考え方

岩手県立大学盛岡短期大学部では、「求める学生像」に合致する学生を選抜するために、次の考え方に基づく入学者選抜を行います。

- (1) 入学者選抜は、岩手県立大学盛岡短期大学部の建学の理念や各学科の教育目標、特色、専門分野等の特性に相応しい入学者を見出すという観点から行います。
- (2) 学力検査のみに偏ることなく、入学志願者の個性や資質、意欲等多様な潜在能力にも配慮しながら、多様な選抜区分と選抜方法を採用します。
- (3) 学力検査においては、暗記型の知識だけを問うのではなく、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、論理性などを見る試験を目指します。

■建学の理念

「自然」、「科学」、「人間」が調和した新たな時代を創造することを願い、人間性豊かな社会の形成に寄与する、深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけた自律的な人間を育成する大学を目指します。

■大学の基本的方向

- ・ 豊かな教養の修得と人間尊重の精神の涵養
- ・ 学際的領域を重視した特色ある教育・研究
- ・ 実学・実践重視の教育・研究
- ・ 地域社会への貢献
- ・ 国際社会への貢献

2 生活科学科生活デザイン専攻のアドミッション・ポリシー

■求める学生像

生活科学科生活デザイン専攻では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 住居と衣服に関する科学の基礎から応用までを、文理融合の視点を交えて、体系的に理解することができる人
- (2) 地域社会に目を向け、豊かな生活を自らつくりだすことを目指して、住居と衣服を中心とした幅広い分野に関心をもつ人

■選抜の基本方針

生活科学科生活デザイン専攻では、「求める学生像」に合致する学生を選抜するために、次の考え方に基づく入学者選抜を行います。

それぞれの選抜区分において重視する学力の3要素を以下に記します。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

選抜方法と学力の3要素との対応				
選抜区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト	○		
	小論文		○	
	調査書			△
学校推薦型選抜	調査書	△		△
	小論文		○	
	面接			○
社会人選抜	小論文		○	
	面接	○		○

3 生活科学科食物栄養学専攻のアドミッション・ポリシー

■求める学生像

生活科学科食物栄養学専攻では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 食に関する科学の基礎から応用までを体系的に理解することができる人
- (2) 栄養士として食生活を支える知識と技能の習得を目指し、科学的思考や実践に対応していける人

■選抜の基本方針

生活科学科食物栄養学専攻では、「求める学生像」に合致する学生を選抜するために、次の考え方に基づく入学者選抜を行います。

それぞれの選抜区分において重視する学力の3要素を以下に記します。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

選抜方法と学力の3要素との対応				
選抜区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト	○		
	小論文	○	○	
	調査書			△
学校推薦型選抜	調査書	○	○	○
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
社会人選抜	小論文	○	○	
	面接	○	○	○

4 国際文化学科のアドミッション・ポリシー

■求める学生像

国際文化学科では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 西洋・アジア及び日本の多様な文化や交流の歴史に関心を持ち、それらについて基礎的な知識を有している人
- (2) 自らが生活する地域とそれがもつ文化の諸相に関心を持ち、それらについて基礎的な知識を有している人
- (3) さらなる探究心を持ち、社会に積極的に寄与する意欲をもっている人
- (4) 基本的コミュニケーション能力を身につけ、ものごとに主体的に取り組むことができる人

■選抜の基本方針

国際文化学科では、「求める学生像」に合致する学生を選抜するために、次の考え方に基づく入学者選抜を行います。

- (1) 一般選抜
 - ・資料を読解し、課題に関わる議論を適切な日本語で書くことができる。
 - ・国語、英語（リスニングを含む。）を理解し、一定の学力を有している。
 - ・歴史・文化・社会に関心を持ち、一定の学力を有している。
- (2) 学校推薦型選抜（一般）、帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜
 - ・資料を読解し、課題に関わる議論を適切な日本語で書くことができる。
 - ・志望動機、意欲や体験、思考等を、説得力をもって伝えることができる。また、初歩的な英会話能力を有している。
 - ・高校での学習内容を一定以上修得している。
- (3) 学校推薦型選抜（特別）
 - ・資料を読解し、課題に関わる議論を適切な日本語で書くことができる。
 - ・志望動機、意欲や体験、思考等を、説得力をもって伝えることができる。また、初歩的な英会話能力を有している。
 - ・外国語の習得等、意欲的に特定の技能の向上を果たしている。
- (4) 社会人選抜
 - ・資料を読解し、課題に関わる議論を適切な日本語で書くことができる。
 - ・志望動機、意欲や体験、思考等を、説得力をもって伝えることができる。また、初歩的ないし一般的な英会話能力を有している。
 - ・高校卒業程度の学力を有しており、就業経験（家事を含む。）も積んできた。

それぞれの選抜区分において重視する学力の3要素を以下に記します。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

選抜方法と学力の3要素との対応				
選抜区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト	○		
	小論文		○	△
学校推薦型選抜 (一般)	小論文		○	
	面接	○		○
	調査書	○		
学校推薦型選抜 (特別)	小論文		○	
	面接	○		○
	調査書	○		
社会人選抜	小論文		○	
	面接	△		○
帰国生徒選抜 私費外国人留学生選抜	小論文		○	
	面接	○		○

II 学校推薦型選抜の概要及びインターネット出願について

学校推薦型選抜における岩手県立大学盛岡短期大学部への出願方法は、インターネット出願です。**出願完了までの流れ、出願登録及び入学検定料の支払いについては、本学インターネット出願サイト掲載の「インターネット出願利用手順」を参照してください。**なお、必要書類等の詳細については、本募集要項の「5 出願手続」（一般：8ページ、特別：13ページ）で確認のうえ、不備のないように出願してください。

志望理由書等の作成及び学校作成推薦書等の出願書類を準備	インターネット出願の前に準備してください。
インターネット出願の登録期間 (入学検定料の支払期限) 【入学検定料】 18,000 円	令和6年10月18日(金) ～ 令和6年11月8日(金) ※ 検定料は上記期間内にお支払いください。なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (ア) 検定料を支払ったが出願しなかった場合 (イ) 検定料を支払ったが出願が受理されなかった場合 (ウ) 検定料を二重に支払った場合 上記(ア)～(ウ)のいずれかに該当する場合は、必ず教育支援室入試グループへ連絡してください。返還の際には、領収書(証)等が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。
出願受付期間	令和6年11月1日(金) ～ 令和6年11月8日(金) 【午後4時必着】 上記期間を過ぎて到着したものは受理しません。 ただし、11月6日(水)までの消印があり、かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。
試験日	令和6年11月24日(日)
合格発表日	令和6年12月2日(月)
入学手続期間	令和6年12月9日(月) ～ 令和6年12月13日(金) 【午後4時必着】 上記期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、余裕を持って郵送してください。

Ⅲ 学校推薦型選抜（一般）

1 募集人員

学科・専攻		推薦区分	募集人員
生活科学科	生活デザイン専攻	A	3名
		B	5名
	食物栄養学専攻	A	3名
		B	5名
国際文化学科		—	15名
合 計		—	31名

※ 国際文化学科においては、学校推薦型選抜（一般）、学校推薦型選抜（特別）それぞれにおいて、合格者が募集人員に満たない場合は、その募集人員に満たない分をもう一方の募集人員に割りあてます。

2 出願資格

本学の学校推薦型選抜（一般）に志願できる者は、次の(1)から(4)までのすべてに該当する者とします。

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 岩手県内の高等学校又は中等教育学校を令和7年3月に卒業見込みの者〔学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者を含む。〕で、推薦区分ごとに次の表に掲げる資格に該当する者
- ② 岩手県外の高等学校又は中等教育学校を令和7年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校又は中等教育学校の卒業を認められる者を含む。）かつ、推薦区分ごとに次の表に掲げる資格に該当する者で、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の1年前（令和5年11月8日）から引き続き岩手県内に住所を有する者
- ③ 岩手県内において、通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月に修了見込みの者で、推薦区分ごとに次の表に掲げる資格に該当する者
- ④ 岩手県外において、通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月に修了見込みの者かつ、推薦区分ごとに次の表に掲げる資格に該当する者で、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の1年前（令和5年11月8日）から引き続き岩手県内に住所を有する者

志望学科・専攻		推薦区分	資 格
生活科学科	生活デザイン専攻	A	下記の1、2に関する科目をあわせて12単位以上修得し、卒業（修了）見込みの者 1. 家庭に関する教科 ^(注1) 2. 福祉に関する教科 ^(注2) 又は、工業に関する学科を卒業見込みの者
		B	推薦区分A以外の卒業（修了）見込みの者
	食物栄養学専攻	A	下記の1、2、3に関する科目をあわせて12単位以上修得し、卒業（修了）見込みの者 1. 家庭に関する教科 ^(注1) 2. 福祉に関する教科 ^(注2) 3. 上記以外の教科に含まれる食物に関する科目 ^(注3)
		B	推薦区分A以外の卒業（修了）見込みの者
国際文化学科	—	—	すべての学科

(注1) 家庭基礎、家庭総合、生活デザインを除く科目で、服飾文化、リビングデザイン、フードデザイン、子どもの発達と保育、生活と福祉など。

(注2) 社会福祉基礎、介護福祉基礎、福祉情報活用など。

(注3) 食品製造、食品化学、食品流通、食品管理など。

※ 科目に係る出願資格は、教育課程表、当該科目のシラバス（授業計画）等の資料を添えて、令和6年10月25日（金）までに本学教育支援室入試グループへ必ず照会してください。

- (2) 人物に優れ、志願する学科への能力、適性があり、かつ専門分野の学習に意欲がある者として高等学校長等が責任を持って推薦できる者
- (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
- (4) 全体の学習成績の状況が生活科学科生活デザイン専攻にあつては3.8以上、生活科学科食物栄養学専攻にあつては4.0以上、国際文化学科にあつては3.8以上の者

3 推薦人数

推薦人数は、各高等学校等から生活科学科生活デザイン専攻に2名、生活科学科食物栄養学専攻に1名、国際文化学科に2名、計5名です。

また、分校のある場合は、本校、分校のそれぞれからの推薦が可能です。

なお、統合に伴い、旧高等学校の生徒が統合校に移行する場合は、その生徒が卒業するまでの間、統合前の旧高等学校ごとの推薦が可能です。

4 入学者選抜方法

本学が実施する小論文、面接、提出された書類により総合的に判定します。

(1) 個別学力検査等の実施内容

学科・専攻	個別学力検査等
生活科学科 生活デザイン専攻 食物栄養学専攻 国際文化学科	小論文 面接

(2) 配点

学科・専攻	小論文	面接	調査書	合計
生活科学科 生活デザイン専攻 食物栄養学専攻	75	55	20	150
国際文化学科	100	70	30	200

(3) 評価基準

学科・専攻	科目等	内 容
生活科学科 生活デザイン専攻	小論文	思考力・判断力・表現力について、総合的に評価します。
	面接	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について、志望動機、意欲、態度、表現力などの各観点から総合的に評価します。志望理由書は面接資料とします。
	調査書	知識・技能、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について、学習成績の状況に基準を設け点数化し、総合的に評価します。
生活科学科 食物栄養学専攻	小論文	知識・技能、思考力・判断力・表現力について、総合的に評価します。
	面接	知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について、総合的に評価します。志望理由書は面接資料とします。
	調査書	知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について、学習成績の状況に基準を設け点数化し、総合的に評価します。
国際文化学科	小論文	思考力・判断力・表現力について、総合的に評価します。
	面接	知識・技能、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、英語によるコミュニケーション能力について、総合的に評価します。志望理由書は面接資料とします。
	調査書	知識・技能について、学習成績の状況に基準を設け点数化することで、総合的に評価します。

(4) 合否判定基準

学科・専攻	合 否 判 定 基 準
生活科学科 生活デザイン専攻 食物栄養学専攻 国際文化学科	総合点（小論文、面接、調査書の合計点）の順位により判定します。

5 出願手続

(1) 出願期間

令和6年11月1日（金）から令和6年11月8日（金）午後4時まで（必着）

上記期間を過ぎて到着したものは受理しないので、余裕を持って郵送してください。

ただし、11月8日（金）午後4時を過ぎて到着したものでも、11月6日（水）までの消印があり、かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。

(2) 出願方法

インターネット出願サイトから「出願登録（登録期間：令和6年10月18日（金）～令和6年11月8日（金）」及び「入学検定料の支払い」完了後にダウンロードできる書類を印刷し、その他必要書類と併せて提出してください。

高等学校等の長が取りまとめて一括して提出する場合は、志願者ごとに所定の封筒に入れて、必ず封筒表面に「学校推薦型選抜（一般）出願書類〇名分在中」と朱書きしてください。

学校推薦型選抜（一般）と学校推薦型選抜（特別）の出願書類を取りまとめて一括して提出する場合は、それぞれ別の封筒にまとめたうえで提出してください。

① 郵送する場合

書留速達にて郵送してください。

② 持参する場合

出願期間中の午前9時から午後4時まで

(午前11時45分から午後1時まで及び土・日・祝日を除く)

※ 高等学校等の教職員以外の持参による提出は受け付けません。

(3) 出願に係る事前準備

インターネット出願を行う前に必ず確認してください。

書 類	作 成 方 法
出願環境の準備	<p>1 端末の準備 インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 <パソコン利用時推奨ブラウザ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 <p><スマートフォン、タブレット利用時推奨 OS></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iOS 12 以降 ・ Android 8 以降 ・ iPadOS 13 以降 <p>※ 各 OS の標準ブラウザが推奨環境となります。 ※ お使いのブラウザで表示が崩れる場合は、他のブラウザで確認してください。 ※ 印刷機能を必要とします。</p> <p>2 メールアドレスの準備 出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメイン【@e-apply.jp】、【@ml.iwate-pu.ac.jp】からのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p>出願時に登録したメールアドレスに、以下のメールが4通送信されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① インターネット出願入力中のテストメール ② 出願登録情報の入力完了時のメール ③ 入学検定料支払完了時のメール ④ 受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール <p>※ 試験が終了するまで、メールアドレスは変更しないでください。</p>
志願者本人写真の用意	<p>インターネット出願にあたって、顔写真データ（ファイル形式「jpeg、jpg、png、bmp」かつ、2MBまで）が必要です。写真は本人確認に利用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。以下の「使用できない写真の例」に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので、注意してください。</p> <p>【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。</p>
その他必要書類の準備	<p>出願する区分に応じて必要な書類を、出願期間に間に合うように準備してください。 ※ 必要な書類は「(6)出願書類」で確認してください。</p>
出願書類送付用封筒	<p>必要書類提出のために、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を用意してください。</p>

様式印刷の用意	A 4判印刷に対応したカラープリンターと用紙を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。（個人情報の取り扱いには十分注意してください。）
---------	---

(4) 出願登録

出願登録は、インターネット出願サイトから行ってください。

詳細は、インターネット出願サイト掲載の「インターネット出願利用手順」を参照してください。

(5) 入学検定料の支払い

入学検定料は、インターネット出願サイト掲載の「インターネット出願利用手順」のSTEP 4「お支払い」を参照して支払ってください。

(6) 出願書類

書 類	作 成 方 法
志願票	<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を漏れなく入力してください。 インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料（18,000円）の支払い」完了後にA 4判印刷用紙にカラー印刷してください。
写真票	<ul style="list-style-type: none"> インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料の支払い」完了後にA 4判印刷用紙にカラー印刷してください。 鮮明に印刷するため、スーパーファイン用紙、マット紙等の使用を推奨します。
推薦書	<ul style="list-style-type: none"> 本学所定の様式により、高等学校等の長が作成し、厳封してください。 ※ 様式は、本学ホームページからダウンロードしてください。
調査書	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省所定の様式により高等学校等の長が作成し、厳封してください。 出願資格に係る教科・科目の修得(見込み)については、調査書の「2. 各教科・科目の学習の記録」の教科・科目に○印を付してください。 ※ 調査書等は、発行日が令和6年4月1日以降のものを提出してください。
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> 本学所定の様式により、作成してください。 ※ 様式は、本学ホームページからダウンロードしてください。
出願書類提出用角形2号封筒	<ul style="list-style-type: none"> 市販の角形2号封筒を各自で用意し、出願に必要な書類をすべて封入し、「出願書類提出用宛名シート」を貼付してください。
出願書類提出用宛名シート	<ul style="list-style-type: none"> インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料の支払い」完了後にA 4判印刷用紙にカラー印刷してください。（志願票を印刷すると、同時に印刷されます。） 「出願書類提出用角形2号封筒」の表面に、剥がれないように全面のり付けで貼付してください。
提出書類チェックシート	<ul style="list-style-type: none"> 必要書類を漏れなく封入したことをチェック欄にチェックした上で、「出願書類提出用角形2号封筒」に同封してください。

(7) 受験票の印刷

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できます。出願時に登録したメールアドレスに、受験票の印刷をお知らせするメールを送信しますが、メールが届かない場合でも、令和6年11月15日(金)午後1時以降(予定)に、インターネット出願サイトからダウンロードして印刷し、余白部分を切り取ったうえで試験当日に持参してください。

- インターネット出願では、入学検定料支払時、必要書類印刷時、受験票印刷時等に、インターネット出願サイトへのログインが必要になります。インターネット出願サイトからマイページログイン画面にアクセスして、「メールアドレス」及び「パスワード」を入力してください。
- インターネット出願の利用が難しい場合は、令和6年11月1日(金)までに、教育支援室入試グループへ相談してください。

(8) 出願上の注意事項

- ・ 「インターネット出願」は、インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。支払期限内に入学検定料を支払い、出願に必要な書類が出願期間内に本学に到着する必要があります。
- ・ 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- ・ 出願書類の入力に当たり、自署以外は、パソコンで正しく入力すること。(文字色：黒)
- ・ 出願書類は、学校推薦型選抜(一般)用、学校推薦型選抜(特別)用の2種類ありますので、書類作成の際には間違えないよう注意してください。
- ・ 出願後の書類の内容変更はできません。ただし、受験者本人の氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、教育支援室入試グループへ連絡してください。
- ・ 受理した出願書類は返還しません。
- ・ 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- ・ 出願資格を入学時まで満たせなかった者は、入学手続後であっても入学の許可を取り消します。

IV 学校推薦型選抜(特別)

学校推薦型選抜(特別)は国際文化学科のみ実施します。

1 募集人員

学科	募集人員
国際文化学科	5名

※ 国際文化学科においては、学校推薦型選抜(一般)、学校推薦型選抜(特別)それぞれにおいて、合格者が募集人員に満たない場合は、その募集人員に満たない分をもう一方の募集人員に割りあてます。

2 出願資格

本学の学校推薦型選抜(特別)に志願できる者は、次の(1)から(4)までのすべてに該当する者としてします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月に卒業見込みの者(学校教育法施行規則第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校等の卒業を認められる者を含む。)及び通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月に修了見込みの者
- (2) 学力、人物とも優秀で、国際文化学科への能力・適性があり、かつ専門分野の学習に意欲がある者として高等学校長等が責任を持って推薦できる者
- (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
- (4) 特定技能について特別に優れた取得資格(下表)を有する者

【特別に優れた取得資格一覧】

	資格名称	基準	認定団体
	《英語》		
01	TOEFL ITP®	440点以上	TOEFL®テスト日本事務局 ETS Japan 合同会社
	TOEFL iBT®	42点以上	TOEFL®テスト日本事務局 ETS Japan 合同会社
02	TOEIC® L&R	470点以上	(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会
03	GTEC	960点以上	(株)ベネッセコーポレーション
04	全商英語検定試験	1級	(公財)全国商業高等学校協会
05	技術英語能力検定	4級以上	(一社)日本能率協会(JMA)
06	実用英語技能検定(英検 S-CBTを含む)	2級以上	(公財)日本英語検定協会
	《韓国語》		
07	韓国語能力試験	1級以上	(公財)韓国教育財団
08	「ハングル」能力検定試験	4級以上	特定非営利活動法人ハングル能力検定協会
	《中国語》		
09	中国語検定試験	4級以上	(一財)日本中国語検定協会
	《フランス語》		
10	実用フランス語技能検定試験	4級以上	(公財)フランス語教育振興協会
	《ドイツ語》		
11	ドイツ語技能検定試験	4級以上	(公財)ドイツ語学文学振興会
	《ロシア語》		
12	ロシア語能力検定試験	4級以上	ロシア語能力検定委員会
	《スペイン語》		
13	DELE スペイン語検定	A2以上	DELE 事務局、インスティトゥト・セルバンテス
	《国語》		
14	日本漢字能力検定	2級以上	(公財)日本漢字能力検定協会
	《歴史》		
15	歴史能力検定	2級以上	歴史能力検定協会

※ 出願時に「特別に優れた取得資格証明書」の写しを提出してください。

※ 複数の資格を取得している場合は、すべて提出してください。

※ 表に掲げる資格についての詳細は、それぞれの団体にお問い合わせください。

3 推薦人数

各高等学校等からの推薦人数の制限はありません。

4 入学者選抜方法

本学が実施する小論文、面接、提出された書類により総合的に判定します。

(1) 個別学力検査等の実施内容

学科	個別学力検査等
国際文化学科	小論文 面接

(2) 配点

学科	小論文	面接	調査書等	合計
国際文化学科	100	70	30	200

※ 調査書等には、調査書、推薦書及び「特別に優れた取得資格証明書」を含みます。

(3) 評価基準

学科	個別学力検査等	内 容
国際文化学科	小論文	思考力・判断力・表現力について総合的に評価します。
	面接	知識・技能、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、英語によるコミュニケーション能力について、総合的に評価します。 志望理由書は面接資料とします。
	調査書等	知識・技能について、学習成績の状況に基準を設け点数化することで、総合的に評価します。

(4) 合否判定基準

学科	合 否 判 定 基 準
国際文化学科	総合点（小論文、面接、調査書等の合計点）の順位により判定します。

5 出願手続

(1) 出願期間

令和6年11月1日（金）から令和6年11月8日（金）午後4時まで（必着）

上記期間を過ぎて到着したものは受理しないので、余裕を持って郵送してください。

ただし、11月8日（金）午後4時を過ぎて到着したものでも、11月6日（水）までの消印があり、かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。

(2) 出願方法

Ⅲ 学校推薦型選抜（一般）の「5 出願手続（2）」（8、9ページ）を参照してください。

※ 高等学校等の長が取りまとめて一括して提出する場合は志願者ごとに封筒に入れて、必ず封筒表面に「学校推薦型選抜（特別）出願書類〇名分在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に係る事前準備

Ⅲ 学校推薦型選抜（一般）の「5 出願手続（3）」（9、10ページ）を参照してください。

(4) 出願登録

Ⅲ 学校推薦型選抜（一般）の「5 出願手続（4）」（10 ページ）を参照してください。

(5) 入学検定料の支払い

Ⅲ 学校推薦型選抜（一般）の「5 出願手続（5）」（10 ページ）を参照してください。

(6) 出願書類

書 類	作 成 方 法
志願票	<ul style="list-style-type: none">必要事項をもれなく入力してください。インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料（18,000 円）の支払い」完了後にA4判印刷用紙にカラー印刷してください。
写真票	<ul style="list-style-type: none">インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料の支払い」完了後にA4判印刷用紙にカラー印刷してください。鮮明に印刷するため、スーパーファイン用紙、マット紙等の使用を推奨します。
推薦書	<ul style="list-style-type: none">本学所定の様式により、高等学校等の長が作成し、厳封してください。 ※ 様式は、本学ホームページからダウンロードしてください。
調査書	<ul style="list-style-type: none">文部科学省所定の様式により高等学校等の長が作成し、厳封してください。出願資格に係る教科・科目の修得（見込み）については、調査書の「2. 各教科・科目の学習の記録」の教科・科目に○印を付してください。 ※ 調査書等は、発行日が令和6年4月1日以降のものを提出してください。
志望理由書	<ul style="list-style-type: none">本学所定の様式により、作成してください。 ※ 様式は、本学ホームページからダウンロードしてください。
特別に優れた取得資格証明書	<ul style="list-style-type: none">「2 出願資格」の(3)の表に掲げる資格のうち、取得した資格に係る全ての証明書の写しを提出してください。原則としてA4判とし、これより小さいものはA4判の台紙に貼り、大きいものは縮小コピーしてください。提出された証明書の写しは返却しません。
出願書類提出用角形2号封筒	<ul style="list-style-type: none">市販の角形2号封筒を各自で用意し、出願に必要な書類をすべて封入し、「出願書類提出用宛名シート」を貼付してください。
出願書類提出用宛名シート	<ul style="list-style-type: none">インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料の支払い」完了後にA4判印刷用紙にカラー印刷してください。（志願票を印刷すると、同時に印刷されます。）「出願書類提出用角形2号封筒」の表面に、剥がれないように全面のり付けで貼付してください。
提出書類チェックシート	<ul style="list-style-type: none">必要書類を漏れなく封入したことをチェック欄にチェックした上で、「出願書類提出用角形2号封筒」に同封してください。

(7) 受験票の印刷

Ⅲ 学校推薦型選抜（一般）の「5 出願手続（7）」（11 ページ）を参照してください。

(8) 出願上の注意事項

Ⅲ 学校推薦型選抜（一般）の「5 出願手続（8）」（11 ページ）を参照してください。

V 学校推薦型選抜（一般、特別）共通事項

1 学力検査等の日時・試験会場等

(1) 学力検査等の期日、時間割

令和6年11月24日（日）

受付開始 8:30、受験者入室期限 9:30、12:15

学科・専攻	時間・試験科目			
	10:00	11:30	12:30	17:00
生活科学科 生活デザイン専攻 食物栄養学専攻 国際文化学科		小論文	昼食・休憩	面接 (終了予定)

(2) 試験会場

試験は、岩手県立大学盛岡短期大学部で行います。試験会場周辺の地図は、22 ページに記載していますので、参照してください。

(3) 受験上の注意事項

- ・ 「受験票」は試験期間中必ず携帯し、係員の請求があった場合は、提示してください。
- ・ 当日に受験票を忘れた者は、速やかに係員に申し出てください。また、受験票は、個人成績提供の請求の際に必要なため、試験後も大切に保管してください。
- ・ 受験者の受付は、午前8時30分に開始しますので、午前9時30分までに受付を済ませ、指定された試験室に入室し、着席してください。
- ・ 小論文の開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ・ 面接の際は、決められた控室に集合し、待機してください。なお、面接開始時に不在であった場合には、欠席したものと取り扱います。
- ・ 小論文又は面接のいずれか1つでも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ・ 試験時間中に使用を許可するものは、鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（辞書や電卓等の機能があるもの、秒針音のするもの、大型のもの、ウェアラブル端末及びキッチンタイマーを除く。）に限ります。
- ・ 時計は各自で用意してください。
- ・ 携帯電話、スマートフォンや音の出る機器類の時報・アラーム音・着信音等は試験室に入る前に必ず設定を解除し電源を切ってかばん等にしまってください。アラームは、設定を解除しないと電源を切っても鳴ることがありますので十分注意してください。なお、試験時間中にかばんの中でこれらの機器類の着信音や振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験実施本部で当該試験時間終了まで保管します。
- ・ 試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行います。その際、監督者が顔を上げるよう指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。
また、不正行為に見えるような行為は、監督者が注意する場合があります。
- ・ 試験会場における受験者間の物品の貸与は一切認めません。
- ・ 昼食の販売は行いませんので、各自で準備してください。
- ・ 昼食は指定された席でとってください。
- ・ 試験会場及びその周辺で合格電報、合格電話等の受付を行う者がいても、岩手県立大学盛岡短期大学部とは一切関係なく、トラブル等が生じて責任を負えないので注意してください。
- ・ 試験日前日から、本学の建物内には入れません。なお、試験日前日の午後に関限り、本学の敷地内に入れます。
- ・ その他必要が生じた場合には、本学のホームページにて随時お知らせします。

(4) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ・ 志願票、受験票、写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票、写真票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- ・ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ・ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ・ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ・ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・ 試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ・ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請（17ページ）が必要です。）
- ・ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ・ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ・ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ・ 建物内において携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ・ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ・ 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ・ 試験会場において監督者等の指示に従わないこと。
- ・ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

2 併願上の注意

- ・ 本学の学校推薦型選抜へ出願する者は、他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願することはできません。
- ・ 本学の学校推薦型選抜に合格し入学手続を行った者は、入学辞退の許可を得た場合を除き、他の国公立大学を受験しても合格者にはなりません。（重複して入学手続を行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）
- ・ 本学の学校推薦型選抜に合格しなかった者は、本学及び他の国公立大学が実施する他の選抜に出願することができます。この場合は、当該大学の学生募集要項により改めて出願してください。

3 障がい等による配慮事前相談について

本学に入学を志願する者で、障がいがある等、受験上及び就学上の配慮を希望する場合は、教育支援室入試グループへ下記の期限までに事前に相談してください。

この事前相談がない場合、受験上及び就学上の配慮を行うことが難しくなることがあります。日常生活において使用している補聴器、車椅子等を持参しようとする場合も、事前相談が必要です。

障がいの程度によっては、受験上の配慮（障がいの程度に応じ、例えば、視覚障がいの場合は、試験時間 1.3 倍延長・別室での受験・拡大文字による出題、下肢機能障がいの場合は、車椅子での受験・試験室への誘導等）を行うことがあります。

相談の期限： 令和 6 年 10 月 8 日（火）まで

相談の方法： 所定の「障がい等による受験上及び就学上の配慮申出書」に所要事項を記入のうえ、教育支援室入試グループへ提出してください。必要な場合は、志願者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談等を行います。

「障がい等による受験上及び就学上の配慮申出書」は、本学ホームページからダウンロードしてください。

事前相談期限後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため配慮を希望する場合は、速やかに相談してください。

4 入試情報の提供

志願状況等の入試情報を本学ホームページで提供します。

5 試験実施日における試験日程繰り下げ等の情報提供

試験実施当日に、交通機関の遅延などに伴う試験日程の繰り下げ等の情報を午前 7 時 45 分頃から本学ホームページで提供します。

6 合格発表

合格発表日時：令和 6 年 12 月 2 日（月） 午後 1 時（予定）

合格者には合格通知書を発送します。

また、本学ホームページでも合格者の受験番号を発表するとともに、高等学校等の長あてに合否を通知します。電話、電子メール等による問い合わせには一切応じません。

7 入学辞退

学校推薦型選抜の合格者が入学を辞退することは基本的に認められませんが、特別の事情により入学辞退を希望する場合は、令和 6 年 12 月 13 日（金）までに教育支援室入試グループへ申し出てください。

8 入学手続、初年度納付金

(1) 入学手続

① 入学手続期間

令和6年12月9日（月）から令和6年12月13日（金）午後4時まで（必着）

※ 上記期間を過ぎて到着したものは受理しません。余裕を持って郵送してください。

② 入学手続方法

入学手続は、合格通知書に同封する手続書類、封筒を用い、書留速達にて郵送してください。

なお、入学手続書類の直接持参については、令和6年12月13日（金）のみ受け付けます。入学手続場所及び受付時間については、合格通知の際にお知らせします。

また、入学手続時に納入した入学料及び提出書類は返還しません。

ただし、令和7年3月31日（月）正午まで（土・日・祝日を除く）に入学辞退の意思表示をして本学学長の許可を得た場合は、入学手続者が納付した諸経費（下記(2) 初年度納付金のうち学生会費、後援会費、学生教育研究災害傷害保険料及び賠償責任保険料）の返還に応じます。（返還額は、振込手数料を差し引いた後の金額になります。）特別な事情により入学辞退を希望する者は、令和7年3月31日（月）正午まで（土・日・祝日を除く）に岩手県立大学教育支援室入試グループへ申し出てください。

(2) 初年度納付金（金額は令和6年4月現在）

	金額		納付時期等
入学料（注1）	岩手県内の住民（注2）	135,400円	入学手続期間まで
	その他の住民（注2）	203,000円	
授業料	年額	390,000円	5月と10月に、それぞれ年額の2分の1に相当する金額を納付
学生会費		6,000円	令和7年3月まで
後援会費		25,000円	令和7年3月まで
学生教育研究 災害傷害保険料	生活科学科	1,440円	令和7年3月まで
	国際文化学科	1,400円	
賠償責任保険料		680円	令和7年3月まで
同窓会費		15,000円	入学手続期間まで
教科書・ 実験実習費等	・ノートパソコン ※ 必要な要件については別途連絡します。		入学までに準備
	・40,000円～150,000円程度 ※ 学科・専攻、履修内容により異なります。		令和7年4月以降

（注1） 入学料については、高等教育の修学支援新制度の要件に合致する方であっても、入学手続時に一旦納めていただき、入学後の減免が決定してから減免相当額を還付することとしています。

（注2） 「岩手県内の住民」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が入学の日の1年前（令和6年4月1日）から引き続き岩手県内に住所を有する者をいい、「その他の住民」とは、それ以外の者をいいます。

※ 納付金の改定が行われた場合には、改定後の額が適用されます。

(3) 経済的支援等

① 授業料等の減免、分割納付、納期変更

本学では、家庭の経済事情又は不測の災害などのために、授業料等の納付が著しく困難な学生に対する授業料等の減免、分割納付、納期変更制度があります。(②の制度と併せて申請することができます。)

② 高等教育の修学支援新制度による授業料等減免

本学は高等教育の修学支援新制度の対象校となっているので、高等教育の修学支援新制度による授業料等の減免を申請することができます。(①の制度と併せて申請することができます。)

③ 平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波による被害に伴う授業料等免除

東日本大震災により甚大な被害を受けた学生を経済的に支援するための入学科・授業料免除制度があります。

④ 奨学金 (令和 6 年 4 月現在)

・ 独立行政法人日本学生支援機構

種 類	出 願 資 格	給 付 ・ 貸 与 月 額	期 間
給付	人物・学業ともに特に優れ、経済的理由により著しく修学困難な者であること。	<自宅通学者> 9,800 円、19,500 円又は 29,200 円 <自宅外通学者> 22,300 円、44,500 円又は 66,700 円	給付・貸与開始の年月から卒業予定の最短期間
貸 与	第一種奨学金 (無利子)	<自宅通学者> 20,000 円、30,000 円、 45,000 円から選択 <自宅外通学者> 20,000 円、30,000 円、 40,000 円、51,000 円から選択	
	第二種奨学金 (有利子)	20,000~120,000 円 (10,000 円単位) の中から希望する額を選択	

※ 給付月額、生計維持者の収入等により日本学生支援機構が判定します。

※ 第一種奨学金の最高月額 (自宅通学者: 45,000 円、自宅外通学者: 51,000 円) は、家計基準に該当する場合のみ利用できます。

※ 要件等、詳細な情報については、独立行政法人日本学生支援機構ホームページ (<https://www.jasso.go.jp/index.html>) でご確認ください。

・ 岩手県立大学の学業奨励金制度

学校推薦型選抜により入学した学生で他の学生の模範となる資質を持つと認められる者については、岩手県立大学学業奨励金の貸与の対象となることがあります。

	貸与額
学業奨励金	月額 30,000 円貸与 (一定の要件を満たす場合は 20,000 円の加算あり)

次のいずれかに該当する場合には返還を免除されることがあります。

- ア 卒業後 1 年以内に岩手県内に本社を有する企業や県内の地方公共団体等に就職し、引き続き所定の年数を継続して勤務した場合
- イ 本学における学業成績が特に優秀と認められた場合

・ 岩手県立大学本庄照子奨学金

種 類	出 願 要 件	給 付 額	給付対象
給付	経済的支援を必要とし、学業が優秀な者であること。	年額 200,000 円	卒業年次生

・ このほか、地方公共団体等の奨学金制度があります。奨学金については、学生支援室学生支援グループへお問い合わせください。

⑤ アパート等

アパート等については、大学生協にて紹介・斡旋しています。岩手県立大学生生活協同組合へ直接お問い合わせください。また、取り扱っている物件については、ホームページ(<https://www.ipu.u-coop.or.jp/>)で閲覧することができます。

⑥ 学生寮

盛岡短期大学部では、女子学生のための学生寮「ひめかみ寮」を設置しています。

◆ ひめかみ寮の概要

ア 名称	岩手県立大学盛岡短期大学部	ひめかみ寮
イ 所在地	〒020-0816 盛岡市中野一丁目（電話 019-654-9103）	
ウ 収容人数	40人（女子学生のみ）	
エ 構造	鉄筋コンクリート3階建	
オ 居室1室の収容定員	1人（1室9畳程度）	
カ 共用設備	食堂、談話室、洗面・洗濯室、湯沸室、娯楽室、風呂ほか	
キ 入寮費	1,000円（入寮時に納付、令和6年度現在）	
ク 寮経費		

ひめかみ寮は、入寮学生が自主的に運営しており、その寮生活に要する経費は、おおよそ次のとおりです。（注：経済の変動により増加することがあります。）

寮費 30,000円（月額：食費、維持費及び寄宿舎料4,300円を含む）

ケ 冷暖房 完備

コ その他

ひめかみ寮には、駐車場はありません。

門限は23時です。

なお、通学はバス、鉄道を使用して60分程度かかります。

入寮希望については入学手続きの際に受け付けます。（寮の見学可。寮へ事前に電話連絡願います。）

9 入学前教育

合格者に対しては、入学前の学習支援として、学部によるセミナーを実施し、レポート等の課題を課すなどの教育・指導を行います。詳細については、合格者本人に対して通知します。

10 個人成績提供の請求について

(1) 提供内容

選 抜 区 分	提 供 内 容
学校推薦型選抜（一般）	総合点（小論文、面接、調査書の合計点）
学校推薦型選抜（特別）	総合点（小論文、面接、調査書等の合計点）

(2) 請求の受付期間・受付時間

令和6年12月2日（月）から令和7年1月7日（火）まで

（土・日・祝日・年末年始（12月29日から1月3日）を除く）

※ 口頭による請求：午前9時から午後4時まで（午前11時45分から午後1時までを除く）

※ 令和6年12月2日（月）は、合格発表後、午後1時以降になります。

※ 郵送による請求：上記受付期間内の消印有効

※ この期間を超えた場合、口頭及び郵送による請求の受付は、一切いたしません。

(3) 請求の受付場所・郵送先

教育支援室入試グループ

(4) 請求方法

● 口頭による請求

- ① 請求ができる者は本人に限ります。
- ② 電話による請求はできません。
- ③ 本人であることの確認書類として、受験票の提示が必要です。

● 郵送による請求

次の書類を上記(3)の送付先に簡易書留郵便で送付してください。

- ① 個人成績の提供請求書（本人を請求者とし、必ず本人が記入してください。）
※請求書の様式は、23 ページをコピーするか、本学ホームページからダウンロードしてください。
- ② 受験票
- ③ 返信用封筒（長形3号：住所・氏名・郵便番号を明記し、簡易書留郵便に必要な金額分の郵便切手を貼ったもの。宛名には、必ず本人の名前を明記してください。）

(5) 提供方法

● 口頭による請求

受付場所において、口頭により提供します。

● 郵送による請求

個人成績の提供請求書に同封された返信用封筒により、提供内容を記載した通知書を簡易書留郵便により送付します。

(6) その他

公立大学法人岩手県立大学個人情報の保護等に関する規程（令和5年規程第43号）第23条第1項の規定による開示請求については、別に手続きが定められていますので、教育支援室入試グループへ相談してください。

11 個人情報の取り扱い

出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、法令に基づく場合を除き、原則として第三者に提供することはありません。なお、入学者選抜に用いた個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のための業務等を含む。）、入学前教育の指導及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用します。

令和 年 月 日

岩手県立大学 様

請求者氏名 _____
郵便 便 〒 _____

連絡先（電話番号） _____

個人成績の提供請求書

令和7年度入学者選抜について下記のとおり個人成績の提供を請求します。

記

試験区分	
受験番号	
受験者氏名	

(注) 本請求書は受験者本人が必ず自署してください。

添付書類

- ① 受験票
- ② 返信用封筒（長形3号：本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、簡易書留郵便に必要な金額分の郵便切手を貼ったもの。）

----- 以下大学記入欄 -----

受付年月日 年 月 日	発送年月日 年 月 日
担当者確認欄	

(記 入 例)

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

岩 手 県 立 大 学 様

請 求 者 氏 名 夢 野 翼
郵 便 〒 0 2 0 - 0 6 9 3
岩 手 県 滝 沢 市 巢 子 1 5 2 - 5 2
大 学 ア パ ー ト 1 号
連 絡 先 (電 話 番 号) 0 1 9 - 6 9 4 - 2 0 0 0

個人成績の提供請求書

令和7年度入学者選抜について下記のとおり個人成績の提供を請求します。

記

試験区分	令和7年度岩手県立大学盛岡短期大学部生活科学科生活デザイン専攻 (学校推薦型選抜)
受験番号	0 1 2 3 4 5
受験者氏名	夢 野 翼

(注) 本請求書は受験者本人が必ず自署してください。

添付書類

- ① 受験票
- ② 返信用封筒 (長形3号: 本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、簡易書留郵便に必要な金額分の郵便切手を貼ったもの。)

----- 以下 大 学 記 入 欄 -----

受付年月日 年 月 日	発送年月日 年 月 日
担当者確認欄	

出願書類

学校推薦型選抜（一般）	学校推薦型選抜（特別）
志願票	志願票
写真票	写真票
推薦書	推薦書
調査書	調査書
志望理由書	志望理由書
出願用封筒	取得資格証明書
出願書類提出用宛名シート	出願用封筒
	出願書類提出用宛名シート

岩手県立大学盛岡短期大学部への問い合わせ

〔問い合わせ時間等〕

月曜日から金曜日まで（ただし、祝日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）を除きます。）

8時30分から17時15分まで（ただし、12時から13時までを除きます。）

〔問い合わせ先〕

- | | | |
|-----------------|------------|---------------|
| ● 入学試験・入学料 | [入試グループ] | 019-694-2014] |
| ● 奨学金・授業料減免・学生寮 | [学生支援グループ] | 019-694-2010] |
| ● 授業料納入 | [管財契約グループ] | 019-694-2002] |
| ● 授業内容、取得可能な資格 | [教務管理グループ] | 019-694-2012] |



〒020-0693 岩手県滝沢市巢子 152-52

岩手県立大学教育支援室入試グループ

TEL 019-694-2014 FAX 019-694-2035

ホームページアドレス <https://www.iwate-pu.ac.jp/>

e-mail ipu-nyushi@ml.iwate-pu.ac.jp